

令和5年度 第3回 海老名市にぎわい振興審議会 会議録

日時等	令和5年10月12日(木) 14:00~16:00 政策審議室		
議題	(1) 海老名市にぎわい振興事業補助金について (2) 「えびな元気にぎわい振興計画(第3期)」(案)について (3) 令和5年度 にぎわい振興事業について		
出席委員	羽田会長、三田副会長、鳩貝委員、中原委員、門脇委員、長委員、伊藤委員、半澤委員、勝田委員		
公開の可否	一部公開	傍聴者数	0名
事務局・説明者等	経済環境部長 金指、 経済環境部次長 吉沢、 商工課長 山田、商工課長補佐 後藤 にぎわい振興係 今野、増田、山口		

1 開会

2 あいさつ

3 諮問

4 議題

議題1 海老名市にぎわい振興事業補助金について

■海老名市情報公開条例第7条第4号に該当するため、非公開情報

議題2 「えびな元気にぎわい振興計画(第3期)」(案)について

■事務局より、「えびな元気にぎわい振興計画(第3期)」(案)について説明

委員 最初に決めたものをもう一段階具体的に説明したような文章にみえた。

全部まちづくりで締めた理由はあるのか。前回より硬くなった印象。

「持続的に成長」という言葉が難しい言葉遣いだと感じた。

委員 「こういう街をつくる」という基本理念の方針が必要だと思う。「みんなが笑顔になれるまち」は、基本理念ではなく、目標ではないのか。基本理念や方針となると、「こういう街」「こういう地域」を作っていくという認識でないとおかしいのではないか。

委員 「まちづくり」という言葉を使ってしまうと、計画のグレードが一段階上がってしまう気がする。もう少し身近なものにしても良い気がする。

委員 他の自治体と被らないような、海老名市独自のにぎわいを作っていくのがこれからの課題だと思う。

委員 海老名市ならではの特性をどう表現するかが難しい。

- 委員 意識調査は行うのか。
- 事務局 今回は改めて市民に意識調査は行わないが、庁内の中で他部署の意見もまとめている。にぎわいに関してどのような意識を市民の方が持たれているのか、今後意識しながら進める。
- 委員 計画の一文の下に、やさしい説明文は追記するのか。
- 事務局 一文だけでは、伝わりにくいこともあるので、ご意見を参考にする。
- 委員 出た案を分かりやすく整理していただきたい。
- 委員 施策について、この通りでよいと思う。私から修正はない。
- 委員 3-1の民間企業誘発とはどのようなものか。
- 事務局 3年間でどこまで提案できるかだが、駅間開発だけでなく、市役所周辺でも開発が進んでいる。市と民間企業が手を取り合って施策を行えるように、目標という意味も含めて入れている。にぎわい事業でいうと、シェアサイクル事業、イルミネーション事業は民間企業と協働で行っているの、そのような相互作用できるような事業を展開していきたいという意味で施策に入れている。
- 委員 「シェアサイクルなど～」と事業の例示を記載すると分かりやすくなる。
- 委員 海老名駅から銀行がなくなっているのはなぜか。
- 事務局 メガバンクを中心として、店舗の縮小が行われている。
この現象は、海老名市だけでなく、他地域でも起こっていると思われる。融資業務についても、本厚木や町田に移っているのが現状。貯金など、基本的な業務は海老名市に残る。
- 委員 他地域も、直営のATMを減らしている。
- 委員 空いたところはどうなるのか。
- 委員 今までは、駅前に銀行があるのがステータスだったが、決して銀行がにぎわいを創出するとは限らない。今回移転をするのはマイナスととらえるのではなく、プラスにとらえて良いと思う。今後どのような店舗が入るか承知はしていないが、少なくとも銀行よりはにぎわいを創出すると思う。
- 委員 小田急線の海老名駅から厚木駅の高架も、大きいラインであるように、どのようなラインでもよいから繋がるような大きい意識を持ったらよいのではないか。

議題2 ⇒承認

議題3 令和5年度 にぎわい振興事業について

- 事務局より、「えびな元気にぎわい振興計画（第3期）」（案）について説明
⇒意見なし、承認

5 閉会挨拶

————— 閉会 —————